

親子クイズ 547

Q 花言葉から、花の名前を当ててください。6種類の花の名前が分かったら、□に入る文字をとってキーワードを完成させてください。花の名前はすべてカタカナで記入します。

- 1.「飾らない心」「素朴」「高貴な美人」「華やかな恋」 花名：シ○○□ウ○
2.「追憶」「君を忘れない」「遠方にある人を思う」 花名：○オ□
3.「栄光」「勇敢」 花名：□○リオ○
4.「実りのある人生」「知性」 花名：ブ□-○○-
5.「融通のきく仲間」「信頼」 花名：□ン○ヤ○ン
6.「想像力」「いつも幸せ」「食欲」「あなたは私の安らぎ」 花名：□○ナス

キーワード: □ □ □ □ □ □

【第546回解答】

【第546回当選者】

- ① 桐生 祥秀
② 伊東 浩司

- 筒井 仁司 (大堀甲)
高橋 正晃 (明見)
黒上 悦子 (緑ヶ丘)
吉田 景子 (田村乙)
高橋 和加乃 (田村乙)

★応募総数/35通 ★正解率/63%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

- 応募締切/12月11日(月)必着
■あて先/〒783-8501 南国市大堀甲2301 南国市企画課「親子クイズ係」
\*はがきで応募
■賞品/正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

税だより

家屋調査にご協力ください

平成30年度固定資産税の課税に向け、平成29年中の家屋の状況(新築・増築・取り壊しなど)を調査していますので、ご協力をお願いします。

- 所有者の変更は届け出 未登記の家屋(法務局で登録されていない建物)で、売買・贈与・相続などで所有者を変更した場合は、納税義務者変更届(用紙は税務課にあります)を提出してください。
※登記家屋やそれに付随する家屋の所有者変更については、法務局で手続きをしてください(税務課への届け出は不要)。
■新築・増築・取り壊し 平成29年中に家屋の新築や増改築などによる床面積の増減、または家屋の取り壊しがある場合は、今年中にご連絡ください。
※すでに税務課職員が調査で聞き取っている場合は、連絡の必要はありません。

標識の交付を受けていない農耕車両をお持ちではないですか?

乗用装置のあるコンバインやトラクターなどの農耕車両は「農耕用の小型特殊自動車」として、軽自動車税の課税対象となります。取得した場合は、登録の届け出が必要です。標識の交付を受けていない農耕車両をお持ちの場合は標識の交付を受けてください。ただし、乗用装置のない手押し式の田植え機などは課税されません。

また、軽自動車税は4月1日時点の所有者に課税されます。すでに使用していても、廃車の手続きをしていない場合は課税されますのでご注意ください。

- 届出先・問い合わせ 税務課 ☎880-6554
資産税係 (家屋の調査)
税務管理係 (標識の交付)

ミニトコライフ

202



啓発活動 やっています!

たしま よしこ 田島 徳子 さん (大堀乙)



畜産業と農業をやっています。また、人権擁護委員、保護司、J A理事、民生児童委員などの役員もやっています。貫之さくら祭の実行委員長もやっています。畜産業は肉用牛と肉用鳥を飼育しており、夫が結婚する前にやり始め、50年くらい前に起業しました。今は息子達が

やっており、自分は農業の方を主にやっております。何も作らずにいると草が生えてきますので、空いていけば趣味の野菜などを植えるようにしています。牛の牧場は向山の頂上にあります。鳥も同じ場所です。火事になりました。鳥が下宿していたこともあり、その際にはご飯を1日3升炊いたこともありました。

30年ほど前には、農業高校などの学生が下宿していたこともあり、その際には保護司等の活動では、子どもが更生してまじめに仕事したり、児童とかかわりがあったり、本を読み聞かせしたり、子どもといろんな話をして成長のプラスになることに関わることが喜びです。また、農業高校で、デートDVについての講習を行いました。若い子にSNS上での危険や落とし穴など、大事なことを教える啓発活動に力を入れています。

最近竹炭を焼きたいと思っております。山の方で竹がかなり生えており、炭にして川の浄化や粉にして堆肥に混ぜ消費するなど、環境のために使いたいです。性格は楽天的でよくよ考えません。それが良い方にも悪い方にもなります。地声が大いなのでも元気といわれます。畜産、農業の仕事に加えて様々な役員をやらせていただきました。お忙しい中、取材を受けて頂き、ありがとうございます!

なんこく歴史散歩

第59回

西村左平次は、幼少のころから稲生村西立石に住み、武道、勉学に励んでいました。

慶応3(1867)年、大政奉還など激変の時に、土佐藩の歩兵小隊司令に任じられました。慶応4年、土佐藩は堺の取り締まりを命ぜられ、箕浦猪之吉、西村左平次らが隊長として警備にあたっていました。2月15日天保山沖に碇泊していたフランスの軍艦デュプレクス号の艦長、フランス領事二行が堺に来るといので、両隊長は堺の入り口の大和橋で監視していました。そこへ二行がやってきたが、通行許可証を所持していませんでした。追いつきました。そうとは知らず、その日の夕刻、デュプレクス号は堺港に入り、領事二行を迎えるべく、士官以下20名ほどがボートに乗って港に上陸しました。

箕浦・西村両隊長は仏兵に帰艦するよう説得しましたが、言葉が通じず一人も帰ろうとしませんでした。やむを得ず、両隊長は陣所へ引き立てるよう命じたところ、波止場を目指して逃げ出したので、発砲を命じました。その斉射撃で11名を殺害、5名を負傷させる大事件となったのです。フランス公使は大いに怒り、次のような要求を突きつけました。
・仏兵を殺害した20名を堺の現場で

幕末維新の南国 一堺事件の烈士 西村左平次

仏海軍の眼前で斬首する事 土州侯は賠償金15万ドルを支払う事 処刑は、2月23日、堺の妙国寺と決められました。午後4時頃、一番目の六番隊長の箕浦猪之吉の割腹に続いて八番隊長、西村左平次。24歳の若さでこの世を去りました。妙国寺には、左平次の割腹の際の遺品や遺髪などが残されています。墓は妙国寺の隣の宝珠院にありますが、南国市稲生の間田バス停から百メートルほど南の竹林の中にもあります。また、稲生小学校の南にある忠霊塔にも西村左平次の名前が刻まれています。



問い合わせ 生涯学習課文化財係 ☎880-6569